



柿田川と富士山 (清水町支部 清水町役場 提供)

照一隅

第一六三号
 二〇一八年一月一日発行
 発行所 沼津地区保護司会
 編集者 沼津地区保護司会
 同 沼津地区保護司会
 広報部

■ も く じ ■

• 新年を迎えて	石川 寛康 沼津地区保護司会 会長	2
• 新年に寄せて	岸 規子 静岡保護観察所 所長	3
• 新年のあいさつ	高村 謙治 裾野市長	4
• 新年あいさつ	山本 博保 清水町長	5
• 戌 年男・年女		6
• 第64回静岡県更生保護大会(磐田市) 法務大臣表彰を受章して 表彰者一覧	青木 峯子・鈴木かよ子	7
• 我が支部の景	沼津中央支部・沼津東支部・沼津西支部・沼津南支部 沼津北支部・裾野支部・長泉支部・清水町支部	8 9
• 社会を明るくする運動作文コンテスト入賞者一覧 社会を明るくする運動 静岡県推進委員会 優秀賞		
「おたがい幸せになるために」	森 風香 清水町立清水小学校 6年	10
• 小中学校の薬物対策の取組 薬学教室	沼津市立愛鷹中学校	11
• 保護司OB会寄稿「保護司OB会研修旅行」	佐野 利夫 保護司OB会 会長	12
• 平成29年度静岡県薬物乱用防止県民大会		12
• リレー談話室		
「祖父の背中を追って」	佐野 元紀 沼津中央支部	13
「犯罪被害者週間」	小林 靖幸 裾野支部	13
「一人目の対象者」	深澤 好正 長泉支部	13
• 新任保護司県内施設視察研修 静岡少年鑑別所、静岡刑務所		14
• 県更生保護女性連盟結成55周年記念大会		14
• 退任・新任あいさつ ありがとうございました	山口榮策(西)、肥田英臣(西)、渡邊芳明(西)、池田美智江(西)、 武田伸春(南)	15
• お願いします	前田正文(裾)、石井昌明(南)、山口正文(南)	15
• 平成29年度 薬物乱用防止 ポスター・標語コンテスト入賞作品		16
• あとがき		16

リレー談話室



沼津中央支部 佐野元紀

祖父中井勝路（なかいまさみち）は、昭和四十一年から平成九年までの三十二年間、沼津地区保護司会に所属し、活動した。その姿を傍で見ていたこともあり、私自身も自然の流れのように社会福祉全般の仕事に関心を持つようになった。

私の現在の仕事は、障がい者が共同生活を送るグループホームの生活支援である。福祉の仕事に携わってから二十年以上が経過したが、その中で、私が大切にしてきたことを振り返ってみると、それはやはり「信頼関係」という言葉に尽きるだろう。どんな職業にでも大切なわけだが、対人援助に携わる職業に従事する者にとって、相手とどのように信頼関係を構築していくかということは重要だ。しかし、幼少期に家庭環境や養育環境に恵まれない、愛着の形成が十分になされなかった場合、成人して、精神的に不安定になったり、人と信頼関係を構築しにくかったりすると言われている。触法者の中にも、そのような背景を抱えている人は多いのではないだろうか。保護司としての職務を遂行していく上では、対象者が抱える背景にもしっかりと目を向け、寄り添いながら改善更生を支援していきたいと考えている。かつて私の祖父がそうであったように。

今回は、沼津北支部 五味寛融様をお願いします。

リレー談話室



裾野支部 小林靖幸

犯罪被害者支援週間が十一月二十五日から一週間行われることを警察の電光掲示板によって知った。ある日突然、何の責任もないにも関わらず、大切な家族を失った人たちの悲しみ、怒り、そして絶望感はその後の人生に大きな影響を与えます。どうしようもない焦燥感に、さいなまれ、生きる希望を失っている被害者或いはその遺族に寄り添いの支援をすることは人道的にも大切だと思います。

保護司は、犯罪に至った加害者の更生の機会を支援し、見守ることによって、社会復帰させることを目的とします。犯罪に至る背景には、貧困により、充分な教育を受けることなく幼少時を過ごすなど、生育の過程に気の毒な面があるのも事実ですが、まったく非がなく犯罪に巻き込まれる被害者とは情状酌量の余地などは明らかに異なると思います。

社会に衝撃を与えた、山口県光市の母子殺害事件は主婦と生後間もない乳児が十八歳の少年による犯罪で、その狂暴で常軌を失った犯行も、少年法の壁や死刑の是非など被害者家族の気持ちを更に苦しめる状況をもたらしました。保護司である私達も今一度被害者の置かれた状況に思いを馳せることも、大事なことだと思います。加害者も被害者も出さない明るく健全な社会の構築のために我々大人の果たす役割は大きいと思います。

今回は、沼津東支部 山下誠次様をお願いします。

リレー談話室



長泉支部 深澤好正

一人目の対象者
保護司になり、初めて生活環境調整を担当しました。対象者は仮釈放での出所でしたので、毎月、面接を行ってきました。年齢は、私の子供より若く非常に頭の良い子でした。最初は、母親と一緒に私の自宅に見え、他愛もない世間話をし和やかな雰囲気で行ってその後は、本人との一対一の面接を行ってきましたが、その後働き場所を得て一日も休まず出勤をしています。最初会った時と、毎月会う時の顔つきがだんだん穏やかになっていくのを感じ、やはり、基本となる環境（働く所・住まい・家族がある）が整っているとそれだけで心が落ち着いてくるのかと対象者を通じて考えさせられました。

私は会社経営をしています。働く人の中には体に障害のある人が何人もいます。ほとんどが生まれつきの障害です。しかし、生まれつきの犯罪者はいません。犯罪は、家庭・学校・社会等で作られると言われています。地域に目を向けると、気になることに、近所の子供に通学中に挨拶しても挨拶が返ってこない事があります。知らない人には挨拶をしてはいけないという社会の風潮があるやに聞いています。地域・社会で支えあうときには、自分の家の周りにこんな子がいる、あんな子がいるといったような、情報も必要だと思いますが…。

微力ではありますが自分のできることを精いっぱいやっていきたいと思います。

今回は、沼津西支部 高田健次様をお願いします。